

2020年6月22日

診療科長 医局長
 病棟医長 外来医長
 中央診療施設副部長
 看護部長 看護師長
 事務部長 殿

検査部 サテライト検査室
 (生化学検査室)

検査部回報 No. 15

ALP、LD の試薬変更について

ALP および LD の現行の測定法には日本独自の部分がありました。そこで、国際的な測定法に変更するために国内の関連学会・厚生省などが歩調を合わせ、本年4月より全国的に変更をおこなっています。当院におきましても、下記日時より国際臨床化学連合による基準測定操作法(IFCC法)へ切り替えをおこないます。測定法が変わることによる注意点は添付資料をご確認ください。また、現行法と新法の相関関係を下図に示します。ALPは既報のとおり測定値が1/3程度を示し、LDは良好な相関関係が認められています。なお、現行法と新法を識別するため、検査項目名をALP(IFCC)、LD(IFCC)とします。

記

変更日：2020年7月1日(水) 受付分より

検査項目：ALP、LD

表. ALPとLDの測定試薬

試薬	現行法 (JSCC 法)	新法 (IFCC 法)
ALP	Lタイプワコー ALP・J2	Lタイプワコー ALP IFCC
LD	Lタイプワコー LD・J	Lタイプワコー LD・IF

表. ALPとLDの基準範囲

基準範囲	現行法 (JSCC 法)	新法 (IFCC 法)
ALP	106~322 U/L	38~113 U/L
LD	124~222 U/L	変更なし

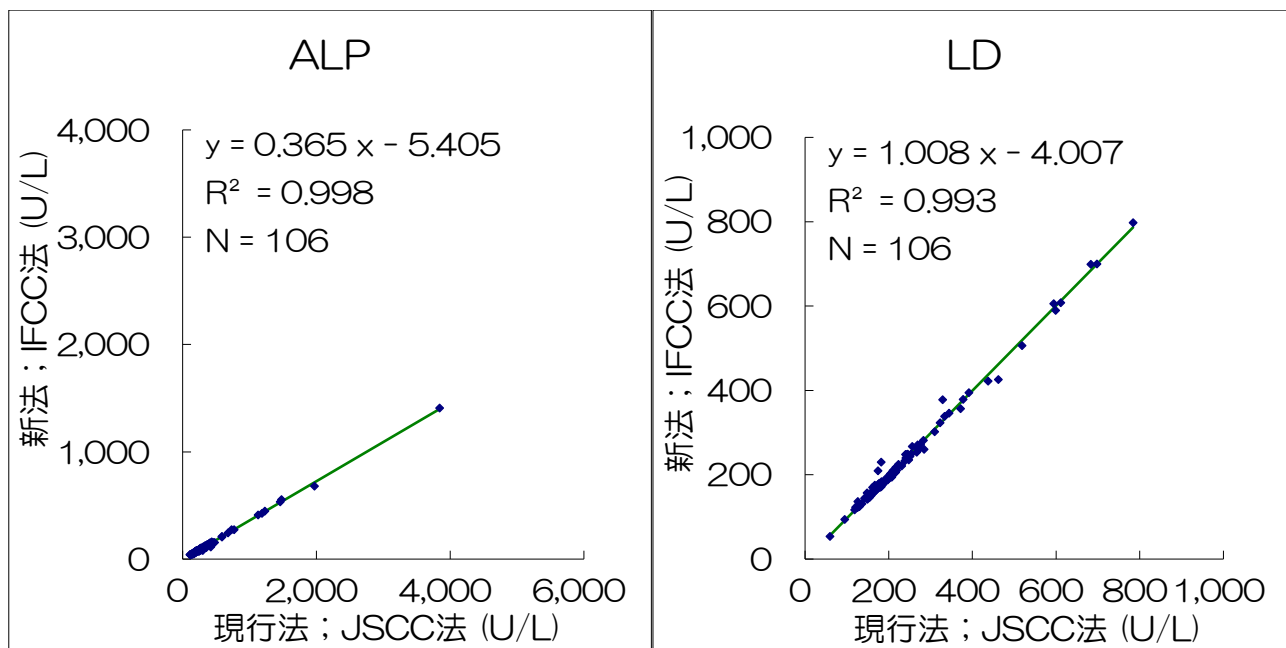


図 現行法(JSCC 法)と新法(IFCC 法)の相関関係

問い合わせは、検査部 サテライト検査室（内線 7409）までお願いします。